

第55期 株主通信
中間報告書

2021年4月1日～2021年9月30日

GECOSS
REPORT



当社長沼工場で製作、一括架設したトラス配管橋

社長メッセージ

ほぼ前年同期並みの売上高を確保したものの、減益となりました。



■当第2四半期の概況について

当第2四半期連結累計期間（2021年4月～2021年9月）におけるわが国経済は、海外経済の回復、国内でのワクチン接種進展等により緩やかな持ち直しの動きが続いているものの、資源価格の高騰、金融市場の不透明感等の影響が懸念されます。

当社グループの属する建設業界におきましては、公共投資は高水準で堅調に推移したものの、民間建築分野の需要は改善の途上にあり、引き続き動向を注視する必要があります。

このような経営環境のなか、当社グループでは、生産性と品質の向上、コスト競争力強化等に取り組むとともに、事業拡大分野についても受注活動を強化し、収益の確保に努めてまいりました。しかしながら、建設機械事業で増収、仮

設鋼材事業、連結合計でも売上高はほぼ前期並みを確保したものの、販売減等によりいずれも減益となりました。

■下期の見通しおよび ■期末に向けて

建設需要は、全体としては公共投資を中心に堅調と見込まれますが、民間建築分野については競争が激化しており、厳しい状況が続いています。また、鋼材価格等の上昇の影響も懸念されます。

当社としましては、稼働率向上、受注価格改善、技術力強化、およびコストアップ抑制による競争力強化を進め、採算性維持と受注確保に取り組んでまいります。

以上を踏まえ、2022年3月期通期の連結業績見通しにつきましては、2021年4月23日に公表いたしました通り、売

上高1,110億円、営業利益55億50百万円、経常利益59億円、親会社株主に帰属する当期純利益は40億50百万円を見込んでおります。

なお、当社は株主に対する利益還元を経営の重点課題として位置付け、中期経営計画（2021～2024年度）においても配当性向を30%程度とすることとしており、当期の中間配当につきましては、1株当たり15円とさせていただきます。また、期末配当につきましても、普通株式1株あたり20円とし、年間ベースで普通配当1株当たり35円を予定しております。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも何卒変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 **野房 喜幸**

半期トピックス

TOPICS 1

全国の展示会で当社取り扱い製品をアピール

全国各地で行われている展示会に、新覆工板締結金具「ジェコスロック®」やEcoラム®工法、簡易組立式橋梁「PABRIS®」、鋼製加工製品などの省人・省力化に繋がる当社取り扱い製品を出展しております。また、今後の洋上風力発電事業の展開を見据えて「WIND EXPO 風力発電展」にも出展し、基地港で使用する仮設用架台などをアピールいたしました。

緊急仮設橋 モバイルブリッジ®

緊急仮設橋 モバイルブリッジ®は、主要な構造部材をX型で連鎖させたシザーズ（はさみ）構造を採用しており、コンパクトに折りたたんでトレーラーで運搬した後、片側から対岸へ展開し施工することができます。展示会では可動式の模型を展示し、構造やそのメリットを分かりやすくPRしております。



無線遠隔操作重機 BROKK®

建設機械事業の新製品である無線遠隔操作重機 BROKK®は、災害リスクの大きい高所・高温・狭所での危険作業において遠隔操作により災害リスクを回避することができます。機体は小型ですが独自システムにより非常にパワフル。豊富なアタッチメントにより様々な作業が可能で、人が入り込みにくい場所でも活躍いたします。



TOPICS 2

加工事業の規模拡大を図る

当社の主力事業の一つである加工事業では、長沼工場（千葉市）と大阪工場（大阪市）を加工事業の東西二大拠点として事業展開しております。今後も中期経営計画の達成に向けて、独自の加工専用工場を活かしてシナジーを最大限に発揮するとともに、全国各地域での営業強化、対応可能製品の拡充を進め、事業規模の拡大を図ってまいります。

大阪工場 鋼製セグメント溶接ロボットを追加導入

少子高齢化の進展も想定されるなか、当社では以前から全国の工場で自動化・省力化をすすめております。西日本では今後鋼製セグメントの需要増も見込まれることから、大阪工場に鋼製セグメントの溶接ロボットを追加導入し、自動化と能力向上の両立を実現してまいります。



長沼工場 無事故・無災害2,400日を達成

当社では、安全衛生管理計画を策定し、安全と健康を最優先とする安全文化の醸成に取り組んでおります。この度、長沼工場が無事故・無災害日数が連続2,400日を達成したことから関係者で祝賀式を執り行い、今後の無事故・無災害継続の決意を新たにいたしました。

ビジネス紹介

仮設工事のトップランナーとして、日本の大型インフラ建設を支えています。

私たちの暮らしを支えるビルや道路などの大型のインフラ建設に欠かせない地下の基礎工事において

ジェコスグループは仮設の山留を中心とした材料供給・工事を行っております。

「ジェコスグループ10年VISION」をもとに、その領域を周辺事業に広げ、地下工事一式を受注する体制を構築してまいります。

WEB 詳しくは「事業紹介」へ

仮設鋼材事業
建設仮設材の賃貸・販売

仮設鋼材事業
仮設工事の請負



仮設鋼材事業
加工・橋梁製品の製造・賃貸・販売

建設機械事業
建設機械の賃貸

ジェコスグループ10年VISION

コンセプト

「安心、安全な社会の建設に貢献し
働きがいの向上を追求する企業」へ

目指す姿

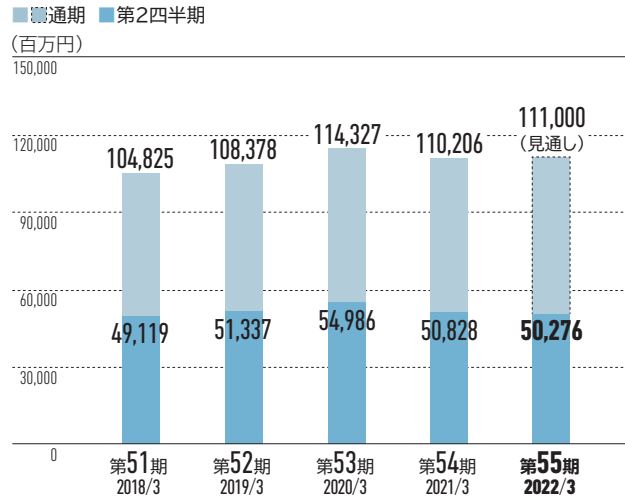
- 1 「重仮設リースと施工の企業」から
「地下工事とインフラのトータル・
ソリューション企業」への脱皮
- 2 当社が中心となり、提携・協力企
業とのシナジーを発揮するネット
ワーク・コーディネーション
- 3 先端技術を積極的に導入した、先
進的オペレーションの追求

WEB 詳しくは
「ジェコスグループ
10年VISION」へ

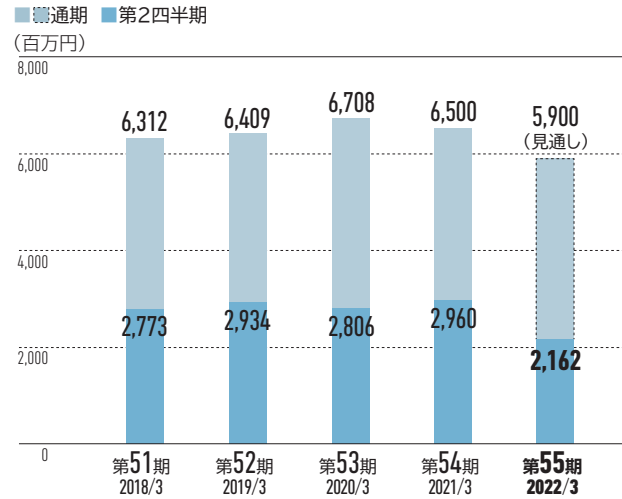
連結財務ハイライト(当第2四半期)

WEB 詳しくは「業績ハイライト」へ

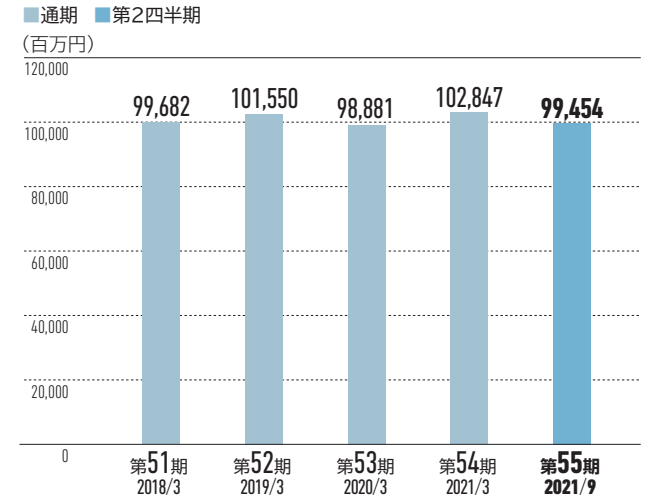
売上高



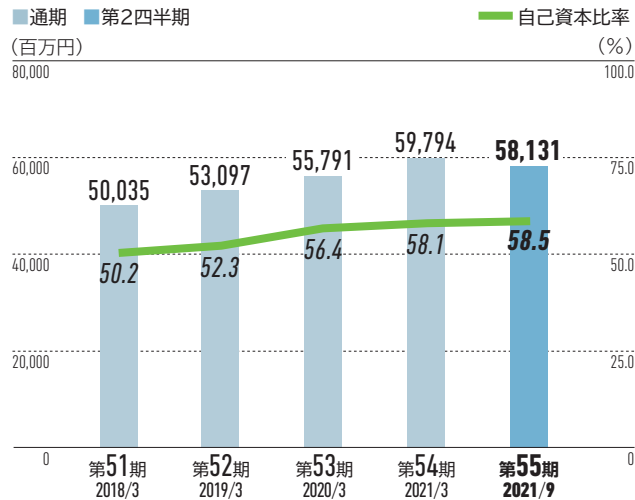
経常利益



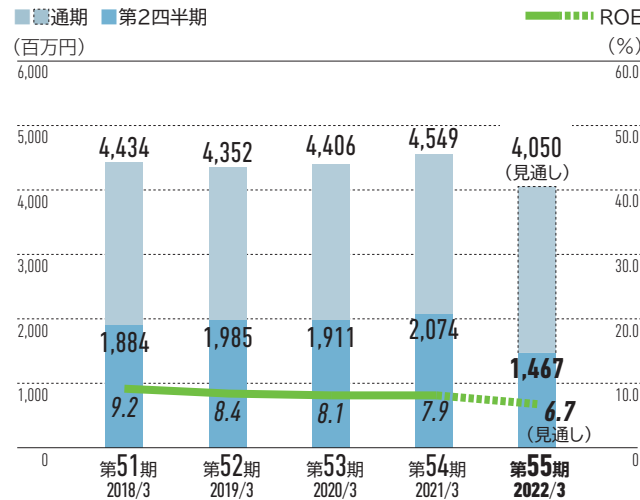
総資産



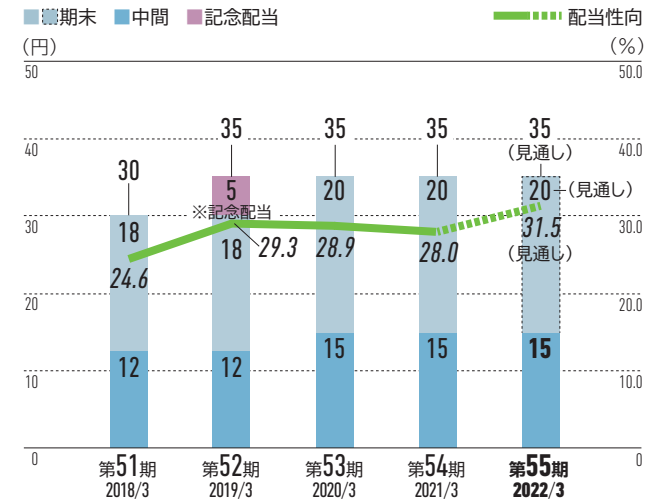
純資産・自己資本比率



純利益・ROE



配当



※記念配当は中間配当時に実施しています。

株主メモ

WEB 「企業情報」はこちら

WEB 「株式情報」はこちら

決算期	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
電話照会先 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

公告方法 電子公告
なお、やむを得ない事由により電子公告をすることが
できない場合は日本経済新聞に掲載します。
※公告掲載の当社ホームページアドレス
➤<https://www.gecoss.co.jp/>



● 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主さまの口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座を開設されました株主さまは、
特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

● 未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。



長沼工場にて無事故・無災害2,400日を達成



新型コロナウイルスワクチンの職域接種を実施



オフィスカジュアルを導入



フードドライブ活動を実施